



# ごさまる通信

蔵書点検中期間にご協力いただき、  
ありがとうございました

休館中は、利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしました。  
10月も様々なイベントを企画しておりますのでぜひ、お立ち寄りください♪

## 10月のイベントのご案内

生涯学習フェスティバルと同日開催！

### 雑誌リサイクル市

期間: 10/4(日)~11/18(水)

場所: 2階ロビー

※多くの方へ提供したいので、手で持てる範囲でお持ち帰りいただくようお願いします。  
※お持ち帰りいただいた資料の売却等はご遠慮ください。  
※個人による雑誌類の持ち込みは行っていません。



### 英語でおはなし会

日にち: 10月31日(土)

じかん: 10:30~11:00

ばしょ: 1階児童コーナー



### 講演会

#### 中城村の学童疎開 —戦時体験と疎開地熊本との絆—

日時: 2026年10月11日(日)

14:00~15:30

講師: 稲嶺 航 ほか

(元中城村教育委員会生涯学習課文化係沖縄戦調査班)

会場: 中城村護佐丸歴史資料図書館

3階企画展示室

定員: 40名(当日先着順) 参加費: 無料

### “読書バリアフリーを知る”ミニワークショップ “リーディングトラッカーを作ろう”

毎年10月は「ディスレクシア」月間です。  
図書館ではミニワークショップを開催します。  
この機会に読書バリアフリーについて学びませんか？

日にち: 10月12日(月・祝)

場所: 1階児童コーナー

時間: ①11:00~11:30

②11:30~12:00

定員: 各回10名程度

予約: 電話・カウンターにて

9/26(土)10時より受付開始!

参加費無料!



# 10月 開館カレンダー



## 図書館の“利用者ポータル” 活用のススメ♪

今まで読んだ本を記録できます！！

個人情報保護のためカウンターでは過去の貸履歴をお調べすることは出来ないのですが、お手持ちのスマートフォンやパソコンから図書館の利用者ページにアクセスして記録を残すことができます。

その方法は…

1. 護佐丸歴史資料図書館ホームページから  
資料検索クリック→“資料を探す”をクリック  
(図書館システムへ移行)→右上部ログイン

利用者番号 : カードの“20”から始まる番号

パスワード : 西暦の誕生日 8桁(初期設定の場合)

2. 利用照会 → 利用照会メニュー → My本棚
3. 借りた本の履歴 → 貸出履歴の保存開始
4. 利用規約をお読みの上“同意する”をクリック

以上のステップで完了です。

“今までどれだけ借りたかな？あの本をもう一度読みたいな”という時に役立ちますよ！ぜひ、ご活用ください！

| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    | 1  | 2  | 3  |
| 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |

平日は 19 時閉館 ○は 17 時閉館 ■は休館日 □はおはなし会

## 企画展示コーナー

1 階 : 『“じゅう”がつくことば “10 個”あつめてみた!!』

2 階 : 『おもひ日和』



## 館長通信 VOL.63 十三夜



月見と言えば旧暦 8 月 15 日の「十五夜」(中秋、芋名月)が有名ですが、実は秋の名月はもう一つあります。旧暦 9 月 13 日の「十三夜」(後の月、豆名月、栗名月)がそれです。昔は十五夜と十三夜の月見はセットで、どちらか一方だけを見る「片見月」は忌避されました。平安時代に藤原宗忠が書いた『中右記』によると、寛平法皇(元の宇多天皇)がある年の十三夜に「今夜の月は無双である」と讃えたことがこの名月誕生のきっかけとのこと。宇多天皇が出家して法皇になったのは 899 年、亡くなったのが 931 年なので、この逸話が正しいとすれば今から 1100 年ほど前に始まった習慣ということになります。十三夜には、月見団子とともに、枝豆や栗を供えるのが一般的でした。民俗学者の高田十郎は 1922 年刊行の雑誌『なら』に「枝豆ヲ茹デテ、三方ニ盛りテ、月ニ供ヘル(…)枝豆ト栗トヲ供ヘル地方モアル」と記しています。正岡子規は『仰臥漫録』の 1901 年 9 月 13 日の項に十三夜にちなんだ句を幾つか記していますが、その一つに「枝豆や月は絲瓜の棚にあり」というのがあります。重い結核と脊椎カリエスを患っていた子規は東京根岸の家で、庭のへちま棚を通して十三夜の月を眺めたのだと思います。亡くなる 1 年前のことでした。秋となり空気が澄んで、月のきれいな夜が多くなってきます。戦後は廃れつつある十三夜ですが、賞玩してみても如何でしょうか？ なお、今年の十三夜は 10 月 23 日(金)です。